

令和3年度事業計画書

期間 2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般社団法人自転車協会は、自転車活用推進法並びに同計画の目的である「官民挙げての自転車利用の普及促進」の趣旨を十分に踏まえ、「製品の安全性確保」と「自転車の需要拡大」に向け具体的な施策を講じる。

製品の安全性については、自転車活用推進法の基本方針（第八条一項五号：「高い安全性を備えた良質な自転車の供給体制の整備」）を踏まえ、業界団体として永年注力してきたBAAマーク制度のより一層の浸透を引き続き行う。

加えて、昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大の収束を見据え、中長期的な自転車の有効利用の更なる促進に向けて、引き続きスポーツ用自転車を中心とした自転車の需要拡大に係る各種施策に積極的に取り組む。

一方で、震災復興と自転車の有効利用を目的としたCycle Aid Japanについては、自転車活用の推進に取り組む自治体との連携と併せて、全国展開を図っていくとともに、各種広報媒体をとおして、自転車の安全・安心な利用促進に係る啓発活動を積極的に行う。

事業計画

1. 安全対策事業

(1) BAA（自転車協会認証）マーク制度への対応

- ①BAAマーク貼付自転車の一層の普及拡大のため、インナーに対するBAA貼付対象となる車種の周知を含めた、広報活動とPR活動を行う。
- ②本制度の対外的な信用度の維持のため、対象となる自転車の商品検査を引続き実施するとともに、その結果を参加事業者で共有することにより、BAAマーク貼付自転車の安全性・信頼性をより一層高めていく。

(2) スポーツBAAマーク制度への対応

- ①スポーツ用自転車安全整備基準に基づき、従来以上にSBAA PLUS認定者と連携し、メンテナンスの重要性や交通ルール遵守に関する情報提供に加えて、スポーツ用自転車の楽しさ、素晴らしさを利用者へお伝えする様々な仕掛けを行う。

- ②昨年度から e-ラーニング方式により実施している SBAA PLUS 新規資格取得講習を本年度も引き続き同方式により実施し、さらなる認定者の拡大と現在認定者のいない空白県での認定者の獲得を推進し、全国への展開を図る。
 - ③従来、東京、名古屋、大阪での座学講習で実施していた SBAA PLUS ブラッシュアップ講習について、コロナ禍の中で全国何処からでも受講ができる e-ラーニング講座により実施し、認定者へのフォローアップの強化を図る。加えて、SBAA PLUS 認定者専用公式サイトについて、さらなるコンテンツの充実を図る。
- (3) 自転車安全基準
- 各種安全基準（自転車安全基準、電動アシスト自転車安全基準、幼児 2 人同乗用自転車安全基準）について、自転車事故分析結果や JIS の改正等を考慮の上、必要に応じた基準の改正や注意喚起等を行うとともに、安全利用に係るタイムリーな情報を会員ならびにマーク制度参加事業者へ肌目細かくお伝えする。
- また国際規格 ISO の動向も踏まえた JIS の改正について、(一財) 自転車産業振興協会に協力して調査研究を実施する。
- (4) 生産物賠償責任保険の団体契約
- 製造物の欠陥によって生じる損害賠償に対処するため、生産物賠償責任保険の団体契約を継続実施し、会員企業の加入促進を図る。

2. 広報活動

(1) BAA マーク関連広報

- ①BAA マーク制度の広報展開をとおして、中長期的な自転車の利用促進に向け、利用者に安全・安心で環境にやさしい BAA マーク貼付自転車の一層の普及に努める。短期的にはコロナ禍において、自転車の有用性をアピールすると同時に、メンテナンスの重要性、自転車の利用に係るルール・マナー等の訴求を行うことで、利用者の共感を得る。
- ②BAA マーク貼付自転車の購入に際し、消費者の方々へ適切なアドバイスができる「BAA アドバイザー」を養成・認定すべく検定を実施する。同時に既存認定者に対しては、自転車の販売に係る教育コンテンツを提供する等、フォローアップを行う。
- ③各県教育委員会とタイアップして、中高生に自転車の安全利用を指導する教職員のスキルアップを目的とする自転車通学车セミナーを年間 5 回以上を目標に開催する。BAA マークの推奨を図ることを目的に、学校単位で自転車安全教室を実施する。

(2) スポーツ B A A 関連広報

- ① 当会特設 Web サイト「ENJOY SPORTS BICYCLE」をとおして、利用者にスポーツ用自転車（ロードバイク、クロスバイク、MTB 等）の楽しさ、素晴らしさを利用者へお伝えする。
- ② 会員が一丸となってサポートすべきイベントを選択する等、より有効なスポーツ車の振興施策の立案、実施に向けて、イベント情報を収集蓄積（データベース化）し会員相互で共有することができる「イベントカレンダー（Web サイト）」の運用を ENJOY SPORTS BICYCLE サイトにて行う。
- ③ 販売店スタッフを対象とした試乗会「SBAA オフロードバイクディーラーサミット」の開催や、当会特設 Web サイト「ENJOY SPORTS BICYCLE」内に設けた MTB 等オフロードバイクの情報を集約したコンテンツの更なる充実等、平成 30 年度より実施している「MTB の市場活性化」に係る諸施策を引き続き進めていく。

(3) 協会広報

- ① 8 年前にスタートした TBS ラジオ番組「ミラクル・サイクル・ライフ」へのスポンサー提供をとおして、一般聴取者に対する自転車の安全・安心な利用促進に係る啓発を引き続き行う。
- ② 自協会ニュースの発行
月刊で自協会ニュースを発行し会員他、関係者にとって有益な情報を取りまとめ公表頒布する。
- ③ SBAA EXPRESS の発行
スポーツ BAA マーク制度参加事業者及び販売者とのコミュニケーションツールとして、月刊メールマガジンを発行する。

3. 自転車活用推進法への対応

自転車活用推進法並びに自転車活用推進計画を踏まえた当会と地方自治体との連携関係の構築について、モデル事業としての「自転車を活用したまちづくり」を推進している島根県益田市への支援に加えて、今年度は、既にコンタクトのある連携候補先を中心に、自治体が実施しているサイクリング大会等への支援を通じてさらなる自転車の利用促進を図る。

4. Cycle Aid Japan 2021（東日本大震災復興支援サイクリング）

昨年度同様、主催を地元をお願いして、震災復興支援サイクリング Cycle Aid Japan（ロード大会並びに MTB 大会ともに）を実施する方向で検討する。加えて、災害復興を目的としたサイクリングイベントとして、全国展開を図るべく地方自治体との連携とあわせて具体的検討を進めていく。

5. 自転車協会主催のイベント

新たなサイクリング文化の醸成と振興に向けて、昨年度に続きシマノ社主催（自転車協会協賛）で4月以降に本格的な研修を実施し、令和3年度後半を目的に自転車協会主催の研修等の実施に向けた検討を行う。加えて、昨年度より検討を進めている、環境省管轄の皇居前広場において実施する子供向け「自転車の乗り方教室」について、新型コロナウイルス禍の状況を注視しながら、実施に向けた再検討を行う。

6. サイクリング及び自転車競技等関連団体事業への協力

自転車関連団体が実施する事業に必要なに応じて協賛し、自転車の安全・安心な利用と普及に努める。

7. 自転車工業の基礎調査事業

業界団体として、製造・輸入事業者の経営上の基礎的なデータを調査、収集することで、業界実態の把握（自転車工業の基礎調査）を行う。

これらの成果物については会員に止まらず、関係官庁、関連団体、要望があれば非会員にも配布することで、広く自転車工業の実態把握、自転車の安全施策に対処する。

8. 国際化への対応事業

主要な海外自転車団体等との交流を通じ、日本における自転車業界の秩序ある発展に努める。

9. 会議の開催

- ・ 常任理事会 年5回以上 監事会 年3回以上
- ・ 理事会 年3回以上 総会 年1回以上
- ・ 各種委員会及び関連会議を必要に応じて開催する。
- ・ 各種会議については、コロナ禍の状況に応じてオンラインによる開催を検討する。

以上